

「比較教材」の作成プロンプト例

【プロンプト】のポイント

- ★①役割を与えましょう。
 - ★②ねらいや作業内容を詳細に伝えましょう。
 - ★③制約条件で補足しましょう。
 - ④生成された文章を精読し、必要に応じて微調整を行いましょう。
- ※ねらいを踏まえて AI との対話を重ねながら、理想の文章に近づけましょう。



(単元名)

「私の推し本、紹介します！『読んでみたい！』を引き出す紹介文づくり」

(役割)・・・★①

あなたは中学校国語科の教員です。

中学2年生の「推敲」の授業で使用する比較教材を作成してください。

(ねらい)・・・★②

推敲を間違い直しではなく、「読み手に伝わるように文章を整えること」として考えさせたい。

「本の魅力」を紹介する文として、読者の「読んでみたい！」を引き出すお手本になるような教材にしたい。
加えて、生徒が「どちらが読みたくなるか」「なぜそう感じるのか」を話し合える教材にしたい。

(題材)

中学生に人気の小説又は物語

(条件)・・・★③

- ・全て同じ本を紹介すること、200字程度、誤字脱字はないこと、文章の長さは揃えること、敬体
- ・紹介文Aと紹介文B、紹介文Cを作る

A

- ・表現の工夫がある
- ・内容が抽象的で読み手に内容や魅力が伝わりにくい
- ・あらすじ又は感想中心
- ・悪文ではない

B

- ・表現の工夫がある
- ・具体的な場面や言葉、エピソードを引用しながら魅力を伝える工夫が豊か
- ・読み手が興味をもつ工夫がある

C

- ・表現の工夫が乏しい
- ・具体的なエピソードがない
- ・あらすじ中心
- ・悪文ではない

学習指導要領に示されている、中学2年生の推敲の視点
「読み手の立場に立って、**表現の効果などを確かめて、
文章を整えること**」を意識して(条件)を作成してみましょう。



【作成した比較教材】 題材：『ハリー・ポッターと賢者の石』

紹介文A（抽象的・感想中心）

この作品は、特別な力をもつ少年の成長をえがいた物語です。魔法の世界を舞台に、友情や勇気といった大切なテーマがえがかれています。登場人物同士の関係の変化や、それぞれの思いが重なっていく様子が印象に残ります。読んでいると物語に引き込まれる感覚を味わうことができ、心に残る作品だと感じました。全体として想像力をかき立てられる場面が多く、世界の広がりを感じられる一冊です。多くの人に読んでほしい作品です。(201 字)

紹介文B（具体的・適切な表現の工夫）

階段下の狭い物置で暮らしていたハリーのもとに届いたのは、「ホグワーツ魔法魔術学校」からの手紙でした。「君は魔法使いだ」と告げられた日、彼の人生は大きく動き出します。空飛ぶほうきでの試合、そして「一番望むもの」を映し出す不思議な鏡。心に残る場面の連続に引き込まれます。賢者の石にかくされた秘密に仲間と挑む冒険は、次が気になりページをめくる手が止まらなくなります。一気に読み進めたいくなる物語です。(196 字)

紹介文C（抽象的・表現が単調）

この作品は、魔法の世界を舞台にした物語です。主人公の少年が学校に入り、いろいろな出来事を経験します。友達と関わったり、問題を乗り越えたりする様子がえがかれています。話の流れは分かりやすく、読みやすい内容になっています。全体として楽しめる作品で、多くの人が読むことができます。はじめて読む人にも向いている作品で、最後まで読み進めやすい本です。安定した内容で安心して読める作品です。おすすめです。(200 字)